

意見募集の結果公表

市民等の意見の概要	件数	意見に対する釧路市の考え方
<p>本計画では、二地域居住者に起業や創業を期待しているが、<u>住民票を移して活動している「地域おこし協力隊」との住み分けはどうか</u>考えているか。「地域おこし協力隊」に期待する内容と重複する印象であり、フルタイムの「地域おこし協力隊」とパートタイムの「二地域居住者」それぞれの強みをどう活かすつもりなのか。</p>	1	<p>【その他】</p> <p>地域おこし協力隊は、住民として自治体が設定する特定の地域課題の解決に資する業務に従事し、任期後に当該地域への定住・定着を図る国の制度であり、本計画の対象ではありませんが、釧路市二地域居住等促進戦略では、地域おこし隊の活用メリットも活かしながら、二地域居住者の増加を目指す予定です。</p>
<p>目標設定を「二地域居住者数(ふるさと住民登録者数)を、<u>延べ1万3千人</u>と人数で定めた理由を教えてください。目的が「活力ある地域経済とコミュニティの創出」および「人口減少の抑制」であるならば、「延べ人数」という「量」ではなく、どれだけ深く地域に関わったかという「質(滞在期間の長さ、市民との協働数)」に対する評価が必要と考える。例えば「市内事業者との新規ビジネス創出数」など、長く釧路市に住み続けた努力を続けている市民と新しい居住者とが手を組んだときどれだけ相乗効果が得られたのかについても評価を行うべきではないか。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>市では、「第3期 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、長期滞在者数の増加を目指した目標値を設定していることから、本計画における目標もこの積算を根拠に設定しております。</p> <p>市の二地域居住促進事業全体にかかる効果検証については、ご指摘の点も踏まえた検討が必要と考えます。</p>
<p>リタイア層ではなく現役世代を狙うのであれば、単なる滞在場所の確保だけでなく、仕事と生活(特に子育てや教育環境)をどう両立させるかの踏み込んだ具体的な施策を提示してほしい。例えば、短期間の保育施設利用や学校への体験入学、コワーキングスペースに併設された託児機能など、子連れで二地域居住を実現できるパッケージを検討すべき。本計画が既存のチャレンジャーと新しい居住者が手を取り合い、共に釧路の未来を耕していけるような、実効性と希望のある計画に進化し、市民が誇りを持って「一緒に面白いことをしよう」と外の人を迎え入れられる、力強い施策の実現を期待する。</p>	1	<p>【参考】</p> <p>「市民への保育の確保」と「二地域居住者への保育サービスの提供」の両立には、民間事業者との連携も踏まえた課題整理と検討が必要と考えております。</p> <p>二地域居住者と市民がともにまちづくりのパートナーとして信頼関係を構築できるよう、担い手活動や交流機会の創出に努めてまいります。</p>